

| | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|---|-----|----------|------|------|--|----|-----|---|--------------|----------|
| 授業科目 | ツーリズム中国語 | | | | | 実務家教員担当科目 | - | | | | |
| 単位 | 2 | 履修 | 選択 | 開講年次 | 3 | 開講時期 | 後期 | | | | |
| 担当教員 | 篠原 征子 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>インバウンドは、日本国の力強い経済を取り戻すための極めて重要な成長分野とされています。政府は訪日外国人数、インバウンド消費額について、「2030 年に 6,000 万人、15 兆円」という数値目標を掲げています。一方、日本の自然、日本の祭り、日本のお城や神社を見たい、日本料理を食べたい、日本でショッピングしたい…、日本への旅を心待ちにしている中国人は大勢います。実際、国・地域別訪日外国人旅行消費額の構成比（2024 年 1-9 月）を見ると、中国人ツーリストが堂々の首位です。しかし、現在日本では中国語で観光ガイドをできる人材が著しく不足しています。</p> <p>この授業では、上級中国語の学習を終了した学生を対象に、中国人ツーリストに安全・安心・楽しい・心に残る有意義な旅を案内するために、14 の場面において観光ガイドとして必要な中国語を翻訳練習、アフレコ練習、応用練習などを通してマスターしていきます。現実に即したコミュニケーション能力を身につけ、仕事やボランティア活動などで活躍できることを期待します。</p> | | | | | | | | | | |
| 授業形態 | 対面授業 | | | | 授業方法 | 翻訳練習、アフレコ練習、さらにアクティブ・ラーニングによりグループワークを行う。 | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | | | | | |
| 標準的レベル | ① 観光案内における 14 の場面の模範例を読んで理解し、日本語に訳すことができる。 ② 模範例の内容を聞いたり、話たりすることができる。 ③ 中国的なホスピタリティを理解することができる。 ④ 模範例を参考に観光案内ができる。 | | | | | | | | | | |
| 理想的レベル | ① 観光案内に関する中国語の文章を読むことができる。 ② 中国的なホスピタリティを理解することができ、模範例を参考に観光案内ができる。 ③ 授業で学んだ内容によって、国際社会で人とコミュニケーションできる能力を身に付け、仕事やボランティア活動などで活躍できる。 | | | | | | | | | | |
| 評価方法・評価割合 | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | | | 評価割合（数値） | | | 備考 | | | | | |
| 試験 | | | 0 | | | | | | | | |
| 小テスト | | | 0 | | | | | | | | |
| レポート | | | 42% | | | | | | | | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | | | 15% | | | | | | | | |
| レポート外の提出物 | | | 28% | | | | | | | | |
| その他 | | | 15% | | | 授業への貢献度 | | | | | |
| カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
| DP1 | ○ | DP2 | - | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | ○ | ナンバリング | T031709J |
| 学習課題（予習・復習） | | | | | | | | | | 1 回の目安時間（時間） | |
| 予習：音声教材を使って、各課の会話文の発音を予習すること。 | | | | | | | | | | 4 | |
| 復習：習った単語や会話文を反復練習すること。 | | | | | | | | | | | |
| 練習問題 A・B を解くこと。 | | | | | | | | | | | |
| 音声付きレポートを作成すること。 | | | | | | | | | | | |

| 授業計画 | |
|-------|--|
| 第 1 回 | <p>テーマ1：オリエンテーション</p> <p>授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成度の目安、評価の内容と方法を理解する。</p> <p>テーマ2：第1課 空港での出迎え</p> <p>学習内容：① 会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ② 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 2 回 | <p>テーマ：第2課 スケジュールの紹介</p> <p>学習内容：① 第1課の練習問題の答え合わせ。 ② 第2課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 3 回 | <p>テーマ：第3課 食事案内</p> <p>学習内容：① 第2課の練習問題の答え合わせ。 ② 第3課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 4 回 | <p>テーマ：第4課 観光案内</p> <p>学習内容：① 第3課の練習問題の答え合わせ。 ② 第4課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 5 回 | <p>テーマ：第5課 宿泊案内</p> <p>学習内容：① 第4課の練習問題の答え合わせ。 ② 第5課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 6 回 | <p>テーマ：第6課 日本文化の紹介</p> <p>学習内容：① 第5課の練習問題の答え合わせ。 ② 第6課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 7 回 | <p>テーマ：第7課 スケジュールの変更</p> <p>学習内容：① 第6課の練習問題の答え合わせ。 ② 第7課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 8 回 | <p>テーマ：第8課 ショッピング案内</p> <p>学習内容：① 第7課の練習問題の答え合わせ。 ② 第8課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 9 回 | <p>テーマ：第9課 クレジットカード払いの案内</p> <p>学習内容：① 第8課の練習問題の答え合わせ。 ② 第9課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。 ③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| 第 10 回 | <p>テーマ：第 10 課 病気にかかる</p> <p>学習内容：① 第 9 課の練習問題の答え合わせ。</p> <p>② 第 10 課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。</p> <p>③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 11 回 | <p>テーマ：第 11 課 温泉案内</p> <p>学習内容：① 第 10 課の練習問題の答え合わせ。</p> <p>② 第 11 課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。</p> <p>③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 12 回 | <p>テーマ：第 12 課 忘れ物</p> <p>学習内容：① 第 11 課の練習問題の答え合わせ。</p> <p>② 第 12 課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。</p> <p>③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 13 回 | <p>テーマ：第 13 課 祭り案内</p> <p>学習内容：① 第 12 課の練習問題の答え合わせ。</p> <p>② 第 13 課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。</p> <p>③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 14 回 | <p>テーマ：第 14 課 空港へ見送り</p> <p>学習内容：① 第 13 課の練習問題の答え合わせ。</p> <p>② 第 14 課の会話文の翻訳練習、発音練習、アフレコ練習、ポイント学習。</p> <p>③ 関連事項および中国的なホスピタリティについての解説。</p> |
| 第 15 回 | <p>授業全体の総括と理解度の確認</p> <p>学習内容：① 第 14 課の練習問題の答え合わせ。</p> <p>② クループワークの発表。</p> |
| テキスト | 『ツーリズム中国 ようこそ日本へ』篠原征子著 駿河台出版社 2020 年 定価（本体 2200 円＋税） |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | <p>『東方中国語辞典』相原茂・荒川清秀・大川完三郎 主編 東方書店</p> <p>『中国語常用フレーズ辞典』王占華 編 光生館</p> <p>『中国語の語源図鑑』西香織 著 かんき出版</p> |
| 課題に対するフィードバックの方法 | レポートはコメントを付けて返却する。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | <p>① この授業は実際に受講する皆さんに発音などの発表があるので、必ず講義の予習を行ってください。</p> <p>② 積極的に中国語検定試験や HSK 検定に参加してください。</p> <p>③ 観光地などの中国語案内パンフレットを参考資料として集めてください。</p> |

